

平成31年度

運営に関する計画

（中 間 評 価）

大阪市立喜連小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおり達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】※全市共通目標 ① 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ② 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ③ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ④ 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ⑤ 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の状況を測る指標	進捗状況
取組内容 【施策5 子供一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 ・学年の実態に応じて、児童が主体的に学習に取り組むことができるような手立てを行い、学習に対する関心・意欲の向上を図る。（目標①・③） 指標 ・学校生活アンケート【授業では、自分で考え、自分から取り組んでいます】の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	B
取組内容 【施策5 子供一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 ・基礎基本の定着を目指して学習をすすめ、習熟度別少人数指導等を充実させるなど、理解度に応じた学習のあり方を模索する。（目標②） 指標 ・算数についてのアンケート【問題のとき方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える】や【問題をとくとき、もっとかんたんにとく方法がないか考える】等の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	B
取組内容 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・学習において話し合い活動を数多く取り入れ、話し合い活動によって学びが広がったと実感できるような場を設定する。（目標④） 指標 ・学校生活アンケート【学級の友だちと話し合って、自分の考えを確かめたり、わかったことが増えたりしています】の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	B

取組内容 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ・全校体操や体力を高める運動習慣を設定し、体力向上への意欲を高める。(目標⑤) 指標 運動に関する能力調査を前期・後期で行い、前期より後期の記録が向上した児童の割合を 8 割以上にする。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・習熟度別少人数指導等、理解度に応じて学習を進めることができている。 ・学習において、ペアやグループ等内容に応じて話し合い活動の場を設定することで、考えを確かめたり、分かったことが増えたりと思う児童の割合が増えてきている。 ・体力を高める運動週間について計画的に実施を進めている。 (後期の取り組みに向けて) ・教科の学習が楽しいと感じられる取り組みを模索する。	
次年度への改善点	

いただいた意見より

各学年の習熟度別学習の取り組みの実態が見えない。

6 年 算数について学年 3 分割（少人数・均等）での取り組みを進めている。

5 年 算数について学級内 2 分割（少人数・均等）での取り組みを進めている。年度内に習熟度別 3 分割の学習を進める予定。

4 年 理科との兼ね合いを考えながら実施を考えている。

3 年 復習という形で学級内 2 分割を 11 月に行う予定。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおり達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】※全市共通目標 ① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ② 平成31年度の小学校学力経年調査における・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 ③ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする ④ 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の状況を測る指標	進捗状況
取組内容 【施策1 安全で安心できる学校教育環境の実現】 毎月、生活指導部会を行い、いじめにつながる行動を起こす可能性がある児童がどうかを共通理解する。いじめ行動を認知した場合は、生活指導部会・いじめ対策員会での話し合いを通して問題解決の方法を考え、いじめ対策基本方針に従って学校全体で解決に努める。 指標 ・ 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	B
取組内容 【施策1 安全で安心できる学校教育環境の実現】 - 毎月の生活指導部会において暴力行為を複数回行う加害児童の把握をし、解決方法の手立てを考え、実行する。必要に応じて地域の主任児童委員や民生委員の方と連携を図る。 - 毎月の生活指導部会において不登校の児童の把握をし、担任や管理職が家庭訪問等を通して家庭との連絡を密にとるようにする。必要に応じて地域の主任児童委員や民生委員の方と連携を図る。 指標 ・ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする。 ・ 平成31年度末の校内調査において、不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B
取組内容 【施策2 道徳心・社会性の育成】 - 学校の決まりを守ることを朝会や学級で児童に働きかけ、全教職員で日常的に指導する。 - 児童が主体的に決まりを守ることが大切である態度を育むことができるように、児童発信の取り組みを学期に1回行う。 - 自然体験や社会体験等の各行事において、自らの役割をきちんと果たし、自主的に取り組む態度を養う。	B

指標	- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を85%以上にする。 ※ 経年調査の結果が間に合わない場合には、校内アンケートを事前に実施したもので評価を行う。	
----	--	--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
- 毎月の生活指導部会において情報共有ができており、重大ないじめ事案は確認されなかった。今後、重大案件につながるであろう事案については、各学年の担任が児童に聴き取りを行い、解決している。 「学校のきまり」について、教員間での認識に統一感が薄いので、教職員でもう一度、共通理解をする事が必要。 - 暴力行為については特に問題はなかった。不登校児については、解決に向けて、家庭との連携、各学年・管理職や関係諸機関との連携を行い、取り組んでいる。	
次年度への改善点	